

2025 年度 東京都立大学大学院 人間健康科学研究科
博士前期課程 入学試験問題（冬季）看護科学域 筆記（専門）

問題 1. 看護倫理・管理学分野

問 1. 看護組織における配置転換（※）の利点について組織と個人の視点から 2 つずつ挙げなさい。

（記述分量：4 行程度）

問 2. 配置転換（※）時に生じうる課題を 2 つ挙げ、その課題が起こる背景や状況を具体的に示し、部署の看護管理者（看護師長相当）が行うマネジメントについて記述しなさい。

（記述分量：解答用紙 1 枚の 1/3～1/2 程度）

※ 同一病院内で所属する部署が変わることを指す。部署異動ともいう。

問題 2. リプロダクティブヘルス看護学分野

親への移行期にある女性の脆弱性について、下記の問いに答えなさい。

問 1. 初めて親になる女性を想定して、親への移行期にある女性の脆弱性を 10 項目挙げ、各々について記述しなさい。

（記述分量：各項目につき 50～150 字程度）

問 2. 初めての妊娠かどうかにかかわらず、親への移行期にある女性の脆弱性を妊娠期に特定し、支援計画を立案する意義について記述しなさい。

（記述分量：500 字程度）

問題 3. 小児看護学分野

問 1. 子どもの身体測定は様々な目的で行われる。子どもの身長と体重を評価する方法を 2 つ挙げ、それぞれの方法を用いた測定値の意味を記述しなさい。

(記述分量：解答用紙 1 枚の 5 行以上 15 行以内)

問 2. 子どもへの看護実践の場では、さまざまな倫理的課題が生じやすく、子どもの権利をどのように実現していくかが問われている。

子どもの権利条約第 12 条には、「締約国は、自己の意見を形成する能力のある児童がその児童に影響を及ぼすすべての事項について自由に自己の意見を表明する権利を確保する。この場合において、児童の意見は、その児童の年齢及び成熟度に従って相応に考慮されるものとする。」と記されている。

看護が行われる場で、子どもの権利条約第 12 条が守られていないとあなたが感じる場面の一つを取り上げ、守られていない理由を述べなさい。さらに、その場面で、どのようにしたら第 12 条を守ることができるのかを記述しなさい。

(記述分量：解答用紙 1 枚の 10 行以上 20 行以内)

出典：日本ユニセフ協会 日本ユニセフ協会抄訳：子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）全文（政府訳）

https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_rig_all.html

問題 4. 成人看護学分野

問 1. 入院目的と退院後を見据えた看護目標を患者と共有することの重要性について、あなたの考えを記述しなさい。

問 2. 問 1 に関係する自身が経験した事例と課題について、事例の概要、アセスメント、実践、評価、臨床現場の課題とあなた自身の課題の順に記述しなさい。

(問 1、問 2 をあわせた記述分量：解答用紙 1 枚の 20 行以上 1 枚以内)

問題 5. 療養生活看護学分野

問 1. 高齢者のエンドオブライフの特徴を踏まえ、エンドオブライフケアの現状と課題を挙げなさい。その上で、エンドオブライフケアの質の向上に向けた取り組みとして何が重要であるか、自分の考えを含め、記述しなさい。

(記述分量：解答用紙 1 枚の 10 行以上 15 行以内)

問題 6. 地域精神看護学分野

問 1. 日本の精神科医療機関における多職種連携の現状と課題について記述しなさい。

(記述分量：400 字以上 600 字以内)

問 2. 問 1 を踏まえ、多職種連携を推進するための対策について自身の考えを記述しなさい。

(記述分量：400 字以上 600 字以内)

問題 7. 在宅看護学分野

問 1. 団塊の世代が後期高齢者になる 2025 年に向けて策定された「訪問看護アクションプラン 2025」は、4 つの目標 ①訪問看護の量的拡大、②訪問看護の機能拡大、③訪問看護の質の向上、④地域包括ケアへの対応と、それらに対する行動計画が記されている。このうち③については、利用者のニーズに沿った丁寧なケアを続けることが訪問看護の質を向上させることにつながるが、その一方で、利用者個人の満足度は周囲に広まりにくいことから、訪問看護の価値を地域に示すことが難しいと言える。そこで、訪問看護の質の向上やその価値のアピールに有効な具体策を記述しなさい。

(記述分量：解答用紙 1 枚の 15 行以上 1 枚以内)

問題 8. 国際看護/医療人類学分野

「社会的処方 (Social prescribing)」とは、一般的に、ストレスや孤立などを感じている人に対し、薬の処方ではなく、地域とのつながりや社会参加の機会を「処方」することで、その人の健康ウェルビーイング（幸福で豊かであること）を向上させる取り組みを指し、英国（NHS（国民保健サービス、National Health Service）などで実施されている。具体的には、リンクワーカーと呼ばれる人たちが間に介入し、人びとをコミュニティ内の活動、グループ、サービスに結び付け、人びとの健康と幸福に影響を与える実地的、社会的、感情的なニーズを満たすアプローチとされている。とりわけ社会的処方の主な対象として、慢性疾患などで長期的に支援を要する人、メンタルヘルス面での支援が必要な人、孤立・孤独を感じている人、複雑な問題を持った人などを例示している。

日本における「社会的処方」として、「認知症カフェ」を某コーヒーショップが開催している例がある。某コーヒーショップにはファシリテーターがおり、定期的な会を運営しているが、主体は参加者ひとりひとりである。本カフェでは、ひとりひとりの価値観や個性を尊重しながら、生きいきとその人がその人らしくいられる場所として、年齢やキャリアに関係なく、人とのつながりを持てる空間づくりを提供しているだけでなく、地域に開かれた空間として人の往来や交流を歓迎している。

上記の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

問 1. 英国で導入されている「社会的処方」を日本に定着させるには、どのような課題があると考えるか。主な課題を 2 つ取り上げ記述しなさい。

(記述分量：解答用紙 1 枚の 20 行以上)

問題 9. 公衆衛生看護学分野

問 1. ポピュレーションアプローチの考え方について具体的な事例を用いて説明し、その事例での看護職の役割と課題について、あなたの考えを記述しなさい。

(記述分量：500 字以上 550 字以内)

問題 10. 助産学分野

問 1. 多胎妊娠の女性に起こりやすい心理的、社会的、身体的問題について、それぞれ 1 つ記述しなさい。記述にあたっては、問題の生じる要因や背景を含めて記述しなさい。

(記述分量：300 字以上 600 字以内)

問 2. 問 1 で述べた問題から 1 つを選択し、その問題を予防するための助産ケアについて記述しなさい。冒頭に選択した問題（例：心理的問題）を記述すること。

(記述分量：300 字以上 600 字以内)